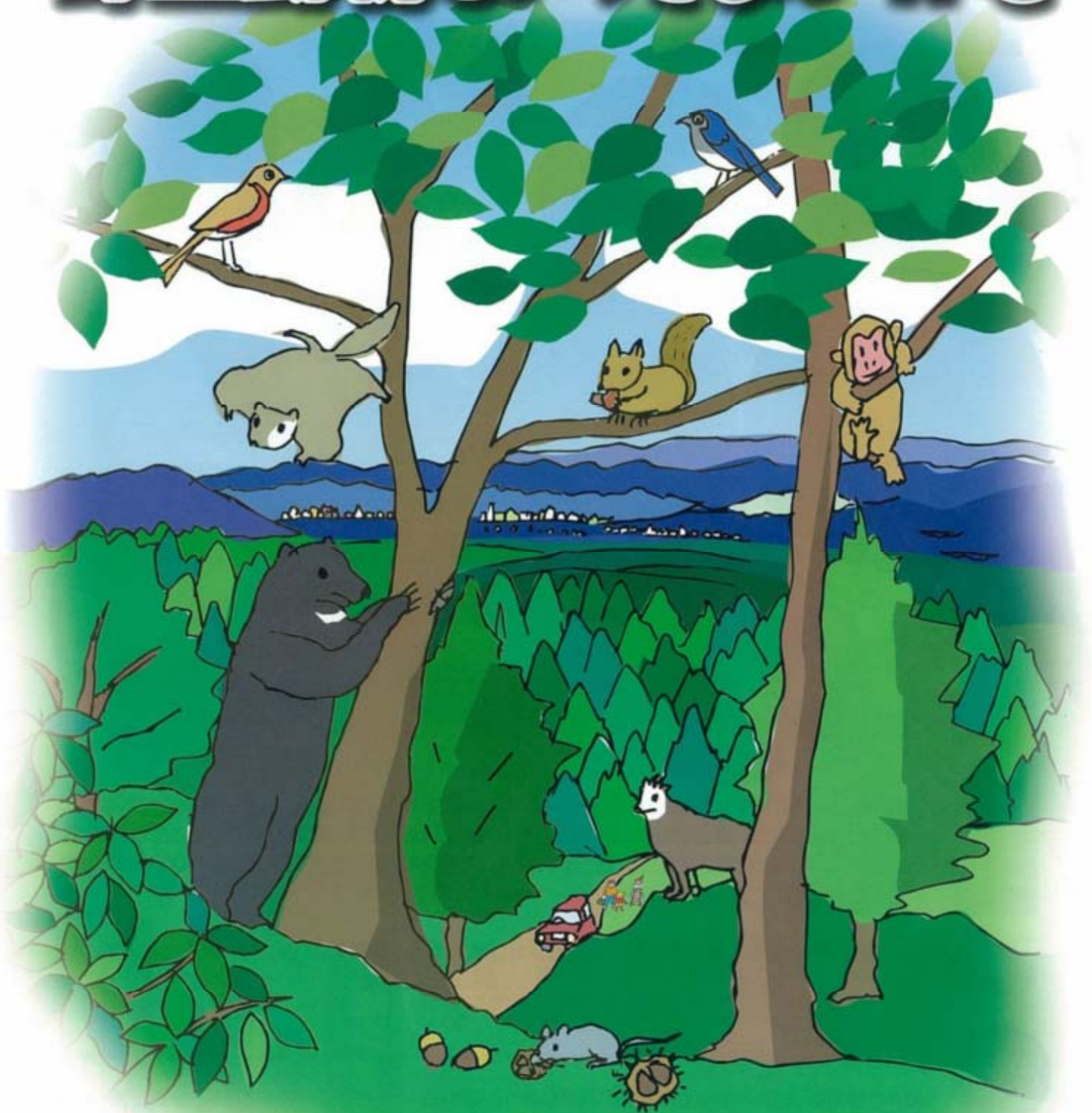


軽井沢版

～野生動物は野生のままに～

野生動物とのつきあい方



軽井沢町



軽井沢は森にがこまれた自然ゆたかな町

春にはコブシやサクラソウが咲き、夏にはたくさんの草花が咲きほこり、秋には紅葉がうつくしい町、それが軽井沢町です。庭には多くの野鳥やリスがおとすれ、私たちを楽しませてくれます。私たちは、とても豊かな自然の中でくらしています。町民はこの豊かな自然を代々引きついできました。軽井沢町は、軽井沢町民憲章で「緑ゆたかな高原の自然を愛しまりましょう」とうたい、今後も自然を守り、育てていこうとしています。



しかし、自然の一員であるクマやサルなどが、問題をおこすことがあります。この問題をできるだけ少なくするには、みなさんの心がけが必要です。動物を引きつけてしまうゴミなどをへらし、人はこわい存在であると思わせ、動物には森でくらしてもらいましょう。増えすぎているときには駆除も考えながら、できるだけ「すみわけ」のが野生動物とのよりよいつきあいかたです。■駆除とは、殺してその場所から取りのぞくことをいいます。

このパンフレットには、野生動物による問題をへらし、豊かな自然の中で人が安全にくらしていくための提案をのせています。

コラム 生態系

豊かな自然は、様々な動植物が複雑に関係あって生きていることで保たれています。植物の実を食べるクマやネズミ、リスなどはその種を運び森を作る役目を果たしています。ネズミやノウサギなどを食べるフクロウやキツネたちは、それらが増えすぎないようにバランスをとる役割をもっています。森や草原の自然を守るには、このような生き物どうしのつながりを保たなければなりません。

ツキノワグマ



豊かな森でなければ生きていけないツキノワグマは、森の減少や駆除により、数が少なくなっています。すでに絶滅した地域もありますが、軽井沢にはまだ豊かな森があり、クマがくらしています。一方、クマが家の近くでゴミをあさるなど、問題もおきています。できるだけクマを殺さずにそのような問題をへらしたい。軽井沢町が目指すのは「すみわけ」です！

●ゴミがクマを引きよせる 引きよせるものをなくすことが大切です。



①家の周りにゴミや食べ物を置かない

においが強いものは、じょうぶなカギのある場所で保管しましょう。

②ゴミ捨て場のルールを守って！

クマは夜から早朝にかけてゴミを求めてやってきます。

③ゴミ箱のカギは必ずかける

カギがないと、クマに開けられやすくなります。

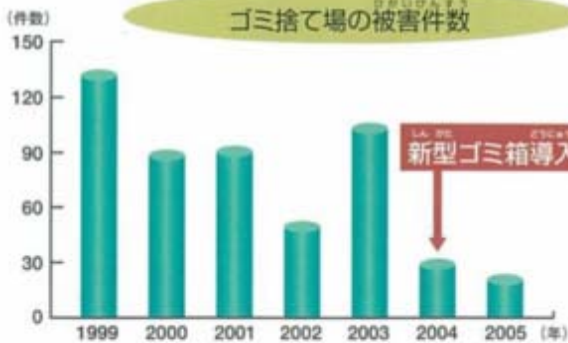


出会わないためにクマよけのスズなどを
持って歩きましょう。

あがないよ～



●ゴミをきちんと捨てたら来なくなった！



クマにも荒らされない新型ゴミ箱にかえてから、ゴミ捨て場の被害が少なくなりました。みなさんがゴミをきちんと捨てたおかげです。

クマに関する
情報

ピッキオホームページ
<http://npo.picchio.jp>

軽井沢町ではピッキオに委託し、ツキノワグマの被害対策・保護管理をおこなっています。捕獲や追い払いなど、対策へのご理解とご協力をお願いいたします。

ニホンザル

軽井沢町にすむサルは約 90 頭。通りがかりの車などから食べ物を与えられて人になれ、庭を荒らしたり、家の中に入ったりと、今では大きな問題になっています。



●サルを引きよせないために

①食べ物を与えない



小鳥用のエサもサルの食べ物になります。サルが来たらエサを片付けましょう。

②追い払い



サルに「人はこわい、ここはイヤだ」と覚えさせます。あきらめずに追い払きましょう。

③むやみに近づかない



見ているだけでもサルが人になれる原因になります。また、サルが危険を感じると突然おそってくることがあります。

④カギを閉める



カギをきちんとしめて、食べ物が外から見えないようにしましょう。

追い払いにはエアガンやパチンコが効果的です。お問い合わせは軽井沢町役場観光経済課農林係まで。

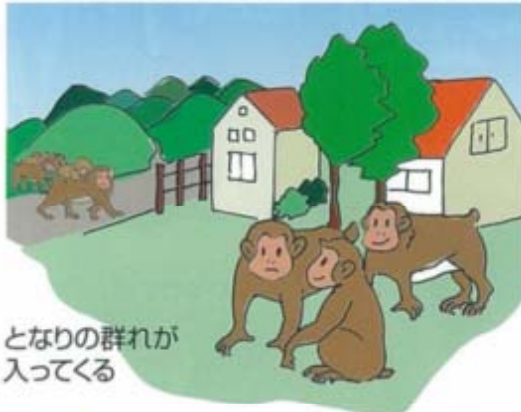
*エアガンでは土にかえる弾も販売されています。



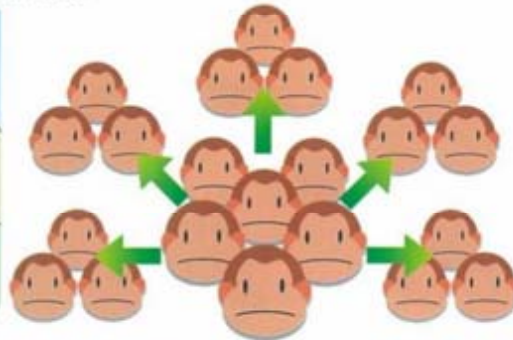
Q1 サルを殺せば問題はなくなるのでは？

A1 なくなりません

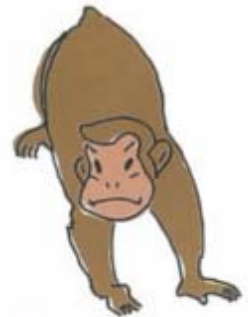
全てのサルを殺すのはとてもむずかしいことです。むやみに殺すとほかの群れが入って来たり、群れが分かれたりして問題が大きくなることがあります。また問題をおこしていないサルを殺しても問題はなくなりません。



となりの群れが入ってくる



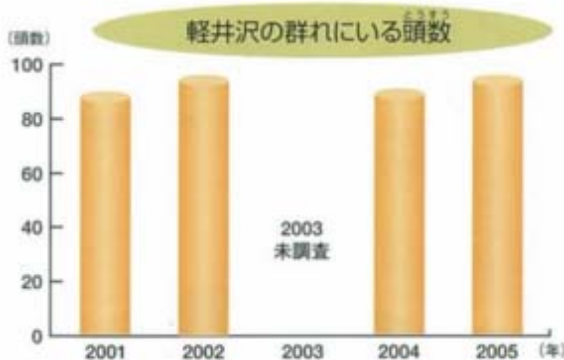
群れが分かれて被害がひろがる



問題サルをみきわめて

Q2 サルはすごく増えている？

A2 それほど増えていません



野生のサルは1~2年に1回、1頭の子供を産みます。サルは大人と同じ大きさになるまでに4年ほどかかるので、子ザルが毎年いっぱい生まれているように見えるのです。

※軽井沢町では2003年に15頭、2004年に20頭駆除しました。

Q3 人にケガをさせたサルはどうするの？

A3 危険なサルは駆除します

人を傷つけたりする危険なサルは駆除を考えています。



撮影：藤原秀

サルに関する情報

モンキーレポート(FM 軽井沢 77.5MHz)
サルナビネット <http://www.karuizawa.jp/animal/>

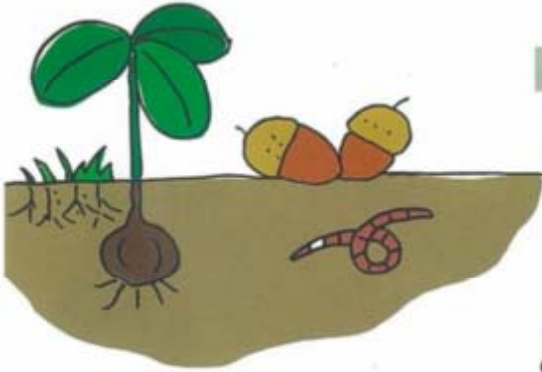
軽井沢町では野生動物監視隊に委託し、サルの追い払いを行っています。追い払いのため、隊員が敷地内に入ることもあるかもしれませんが、ご理解とご協力をお願いいたします。

イノシシとシカ

草の根や昆虫を食べるイノシシ、主に草を食べるシカは、もともと人がすむ場所の近くでくらしています。



イノシシの食べ物



シカの食べ物



人がいるときは
じつかくれてるんだよ

イノシシやシカはやわらかい葉が大好きなので、畑はごちそうのあるレストランのようです。イノシシは、ミミズやどんぐりなどを探して別荘地に入りこみ、コケ庭などを荒らしてしまいます。

● さく 柵でかこって守ろう



数が増えやすいイノシシとシカは、駆除だけでは被害をへらせません。農作物や庭などを、柵でかこって守りましょう。かんたんにできる電気柵も有効です。

● 食べ物をかたづけよう

いたんだ野菜を畑に捨てたり、生ゴミやおちた実などをそのままにしておくと、イノシシやシカを引きつけてしまいます。きちんと片づけましょう。



柵や電気柵は対象とする動物の種類によって効果的な張り方が異なります。
お問い合わせは軽井沢町役場観光経済課農林係まで

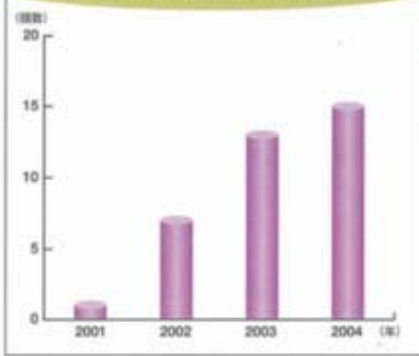
アライグマ

アライグマはもともと日本にはいなかった外来種^{がいらいしゆ}です。ペットとしてアメリカから持ちこまれ、日本中で野生化し、いろいろな問題^{もんだい}を引きおこしています。ネコより少し大きな動物で、ネズミなどの小動物、虫、魚、木の実などなんでも食べます。

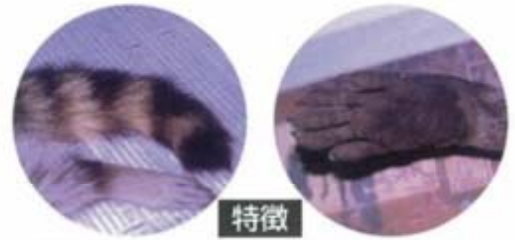
※外来種とは、もともと生息していない地域に人間によって持ちこまれた生き物のことをいいます。



軽井沢でつかまえた数



北海道では年間 8000 万円の農作物被害^{いげ}があります。神奈川県では毎年 1000 頭つかまえないければならないほど増えています。



しましまのしっぽ

5本の長い指

●アライグマが引きおこす問題



①食べられた子ダヌキの毛

もともと軽井沢にすむ生き物が食べられたり、すみかをうばわれます。



②フンやおしっこで汚された壁

人の生活に害^{がい}を与えます。家の中に住みつき、かべや天井^{てんじやう}をこわしたり、汚したりします。



③食べられたトウモロコシ

農作物を食べたり、畑を荒らします。

外来種はもともと日本にはなかった病気をもち込むこともあり、アライグマは狂犬病やアライグマ回虫症^{かいちゆうしやう}を運ぶ危険があります。

●どうしたらいいの？

- アライグマを見かけたらすぐに連絡を!
- アライグマが家の中に入っていないかチェック!
- アライグマのような問題が二度と起きないように、ペットは責任^{せきにん}をもってかみましょう。また、捨てるのは絶対にやめましょう。



軽井沢町ではビックオに委託し、アライグマの目撃や被害の情報を集め、捕獲をおこなっています。自然環境から外来種を排除することは、豊かな自然を守ることに繋がります。



なぜ野生動物は町に出てくるの？

みなさんならどちらを選びますか？

①おいしい食べ物をかんたんにたくさん食べられる場所。

②一日中食べ物を探して歩いても、なかなかおなかいっぱいにならない場所。

きっと①を選ぶのではないのでしょうか。野生動物も同じです。今の軽井沢町では「かんたんにたくさん食べられる場所」が町で、「なかなかおなかいっぱいにならない場所」が森なのです。

今の軽井沢町は…

- 田んぼや畑には食べるものがいっぱい！！
- ゴミ捨て場は生ゴミなどおいしいものがあふれている！
- 町に植えられた木が成長し、町全体が森のよう
- サクラやクワなど、実のなる木が多い

今の森は…

- カラマツが多く、おいしい実のなる木が少ない
- 森の中に家や道ができ、野生動物のすみかがへっている
- 草原や湿地など、昔はあった環境が少なくなった

人に追いまわされたりしてこわいと感じることがなければ、町は野生動物にとって、もっとも食べ物を得やすい場所かもしれません。だからこそ、追い払いや、食べ物を野生動物にとられないように管理するなど、みなさんの心がけがとても重要なのです。そして同時に、野生動物が1年を通して食べ物を得られるような森づくりも必要です。

森を「おいしい食べ物をかんたんにたくさん食べられる場所」に、
町を「なかなかおなかいっぱいにならない、いやな場所」に、
そんな軽井沢町をみんなで作っていきましょう。



お問い合わせ 軽井沢町観光経済課農林係 0267-45-8572